

科目名	経営分析Ⅰ		担当教員	大成 利広	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	EI3BUA317
期待される学修成果	情報の分析に関する力、基礎力、				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験	(空白)				
実務経験を生かした授業内容	(空白)				
到達目標及びテーマ	貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書から企業の収益性、安全性、活動性といった財務諸表の分析を行い、財務面から見た企業の現状を読み取ることができるようになる。				
授業の概要	貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の構造を理解し、収益性の分析、安全性の分析、活動性の分析を行い、さらに3者間の関係性をみることにより企業の分析を行っていく。また、実際の企業の財務諸表を用いながら解説を行う。				

授業計画	
第1回	ガイダンス、経営分析の意義と方法
第2回	経営分析の手法 構成比率分析、趨勢分析
第3回	損益計算書の構造と貸借対照表の構造
第4回	収益性の分析(1) 資本利益率とその分解
第5回	収益性の分析(2) ROEによる分析と財務レバレッジ
第6回	収益性分析(3) 売上高利益率
第7回	活動性分析(1) 資本回転率
第8回	活動性分析(2) 資本回転期間
第9回	安全性分析(1) 短期流動性の分析
第10回	安全性分析(2) 長期流動性の分析
第11回	キャッシュ・フロー計算書の構造とキャッシュ・フロー計算書による分析
第12回	実際の企業の財務諸表により、収益性、安全性、活動性の分析を行う。
第13回	財務諸表の構造と財務分析指標(1)
第14回	財務諸表の構造と財務分析指標(2)
第15回	財務諸表の構造と財務分析指標(3)

事前学修	2時間	専門用語や分析に用いる比率の意味及び計算方法をあらかじめ調べておくこと。
事後学修	2時間	講義内で学習した分析手法を使って、企業の実際の公表財務諸表を分析し、企業の現状を評価してみること。
フィードバックの方法	單元ごとに理解度チェックテストを行い、授業時に返還し、解説する。	

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料				

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80%	財務諸表の構造と財務分析指標を用いた問題により評価する。
上記以外の試験・平常点評価	20%	対象企業の分析についての発表・発言等により評価する。